

5

スマートニュース(株)
ソフトウェアエンジニア

峯田初音さん

みねた・はつね ●1997年生まれ。
京都大学工学部情報学科卒業。
中学時代から開発系の仕事に憧れる。
大学では情報学の理論を学び、
アルバイトを通してプログラミングの
知識・技術を習得。ソフトウェアエン
지니어として就職し、2023年にス
martニュース(株)に転職する。



私の仕事は、ソフトウェアエンジニアです。

↓
1パソコン1つで世界を創ること

世

界中のさまざまなメディア
から情報を集めてユーザー
に届けるニュースアプリ

『SmartNews(スマートニュース)』のシス
テム開発に携わっています。なかでも有
料会員向けの記事について、記事の収
集・分析・分類から、システムの設計、プ
ログラミング、サービスの運用テスト・公
開まで、いわゆる「ソフトウェアシステ
ム」の一連の開発業務を担当していま
す。入社以来、オフィスとリモートのハ
イブリッドワークで、会議はオンライン、
社内コミュニケーションはチャットが中心
です。また、エンジニアは多国籍で、主に
英語と日本語を使っています。

仕事をするうえでは、周囲との「コミ
ニケーション」が不可欠です。企画の立案・
管理を行う「プロダクトマネージャ
ー」とタッグを組み、どのような目的の
ために何を実現したいのか、そのために
はどのようなシステムが必要か、どのよ
うな仕様にすれば将来的なニーズにも
対応できるか…といったことを詰めて
いきます。また、現在担当しているプロ
ジェクトでは、エンジニアのまとめ役「テ
ックリード」を務め、メンバーの合意をと
りながらチームで開発を進めています。
こうした業務を円滑に行うために気を
つけているのが、相手への伝え方です。
良くも悪くもエンジニアはストレートな
表現をしがち。例えば、「これって意味
あるんですか?」とズバツと言われたら、
戸惑う人もいます。フラットだけ
ど相手への配慮を忘れない、そんな関

係性づくりを意識しています。

私はものづくりが好きで、システムを
作ったりプログラムを書いたりすること
が楽しくて、エンジニアになりました。

私にとって仕事は育成ゲームのような
感覚で、努力をしてスキルや経験値が
身につくと、次のステージに上がる…と
いうプロセスに面白さを感じてきまし
た。一方、エンジニアとして働くなかで、
楽しいだけでなく、作った先にある目的
に共感できる仕事がないと考えるよ
うになりました。そして、現在の会社に
転職。決め手は、「世界中の良質な情報
を必要とする人に送り届ける」という会社
のミッションでした。自分が開発に携わ
ったサービスやツールを使った人から、役
立った、便利になったと言われると嬉し
いですが、その先にある新しい価値や世
界の創造こそエンジニアの仕事の魅
力があると感じています。

小学生の頃からパソコンに触るのが
好きで、ガラケー用の着メロを自作した
ことも。「パソコンとインターネットがあ
ればなんでもできる!」というワクワク
感が、エンジニアとしての原体験になっ
ています。エンジニアの間には、所属する組
織を越え連帯感があり、情報や技術は
オープンにしてみんなで共有しよう、み
んなで世の中をより良くしていこうと
いう空気があります。パソコンとイン
ターネットがあればなんでもできるとい
うのは決して大げさではなく、世界を変
えることだってできるし、自分もその一
員でありたい。そう思っています。